

アミノインデックス。がんリスクスクリーニングを受診される方へ

アミノインデックス®がんリスクスクリーニング(AICS)を受診される方のための説明書です。検査を受ける前に必ずお読みください。

アミノインデックス®とは？

アミノインデックス®とは、血液中の各種アミノ酸濃度から、健康状態や疾病の可能性を明らかにする技術を活用した解析サービスです。今回受診される検査は、がん罹患しているリスクを予測するアミノインデックス®がんリスクスクリーニング(Aminoindex® Cancer Screening = AICS)です。

がん罹患している確率を算出し、AICS値として数値化しています。

AICSの特徴

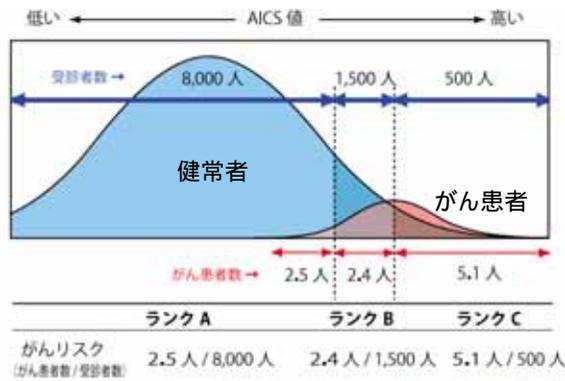
1. 血液中のアミノ酸濃度測定による全く新しいタイプの検査です。
2. 一度の採血で、複数のがんを同時に検査できます。
3. 早期がんにも対応した検査です。
4. 採血による簡便な検査であり、健康診断で同時に受診できます。

AICSで何が分かるの？

がんの人では血液中の各種アミノ酸濃度バランスが変わります。AICSは、それをもとにがん罹患しているリスクを予測する検査で、対象となるがん種は、胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん(男性のみ)、乳がん(女性のみ)です。

がん罹患している確率を算出した数値がAICS値で、0.0～10.0の間の値をとり、がんである確率が高いほど高値になります。

胃がんの場合



AICSを受診した1万人のAICS値を低い順から並べると、5.0未満の人が8,000人(このグループをランクAとします)、5.0以上で8.0未満の人が1,500人(このグループをランクBとします)、8.0以上の人が500人(ランクCとします)という3つのグループに分かれます。

AICSでは、値が大きいほどがんのリスクが高いため、ランクA ランクB ランクCの順番でがんリスクが高くなると言えます。

例えば、がんの有病率は約0.1%とされていますので、1万人の中には10人の胃がん患者がいると考えられます。胃がん患者のAICS値の分布から推定すると、胃がん患者は、ランクAには2.5人、ランクBには2.4人、ランクCには5.1人いると考えられます。

例)

項目	検査結果 ^{OD}	ランクA	60	ランクB	60	ランクC	100
AICS (胃)	6.2			*			

AICS 受診前の注意

血液中のアミノ酸バランスに影響を与える恐れがありますので、
受診前に下記の注意事項をお守りください。

- ・検査のための採血は、食事後8時間以上あけ、午前中に受診してください。
- ・アミノ酸のサプリメント、アミノ酸含有スポーツ飲料、アミノ酸製剤、牛乳・ジュースなども食事と同様にお控えください。
- ・妊娠されている場合、AICS値に影響がありますので検査は受けられません。

AICSについてよくある質問

Q1: AICSを受ければ、他のがん検診は受けなくても大丈夫ですか？

A1: 検査にはそれぞれに長所と短所があり、補いあって使用されています。
AICSはこれまでのがん検診とは異なる全く新しい角度からがんの可能性を見つけ出す方法で、併用することでがんを見つけだせる可能性は高くなります。
その他の検診項目も受けるかどうかは医師とご相談ください。

Q2: いっしょに他のがんも見つけれないのですか？

A2: 今回のがん以外のがん種に関しては、現在も研究が続いています。また、他の疾患に関しても研究が行なわれています。

Q3: 検査前にすでに症状があった場合には、どうしたらいいですか？

A3: 検診は、症状のない方のための検査です。明らかな症状のある方には、それぞれの体の状態に応じた適切な検査や治療が必要になります。
症状のある場合は、必ず医療機関を受診しましょう。

Q4: AICSはどういう人が対象となる検査ですか？

A4: AICSは、25歳～90歳(前立腺がんは40歳～90歳)の日本人(妊娠されている方を除く)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS値は評価対象外となります。